

作物統計調査

令和7年産水稻の収穫量（秋田）

令和7年産主食用米の収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで45万3,900t（前年に比べ5万5,400tの増加）。

1 令和7年産水稻の生産者が使用しているふるい目幅ベースの収穫量（主食用）は45万3,900tで、前年産に比べ5万5,400t増加となった。

これは、作付面積（主食用）が前年産に比べ9,000ha増加の8万1,200haとなったことに加え、10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、8月及び9月に大雨があったものの、総じて天候に恵まれ、全もみ数及び千もみ当たり収量が前年並みとなったことから、前年産に比べ7kg増加の559kgとなったためである。

2 作況単収指数は103となった。

各作柄表示地帯の作況単収指数は表のとおりである。

参考

令和7年産水稻のふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用）は47万7,500tで、前年産に比べ5万7,300t増加となった。

以上の内容について、10月25日現在の公表値から変更なし。

表 令和7年産水稻の作付面積（主食用）、10a当たり収量及び収穫量（収穫期）

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10a当たり 収 量 ①	対前年比	収穫量 (主食用 (生産者ふ るい上米))	10a当たり 収 量 ②	対前年比	収穫量 (主食用 (生産者ふ るい下米含む。))	
秋田	81,200	559	101	453,900	588	101	477,500	103
県北	...	541	100	...	571	100	...	102
県中央	...	549	102	...	579	101	...	103
県南	...	576	101	...	605	101	...	103

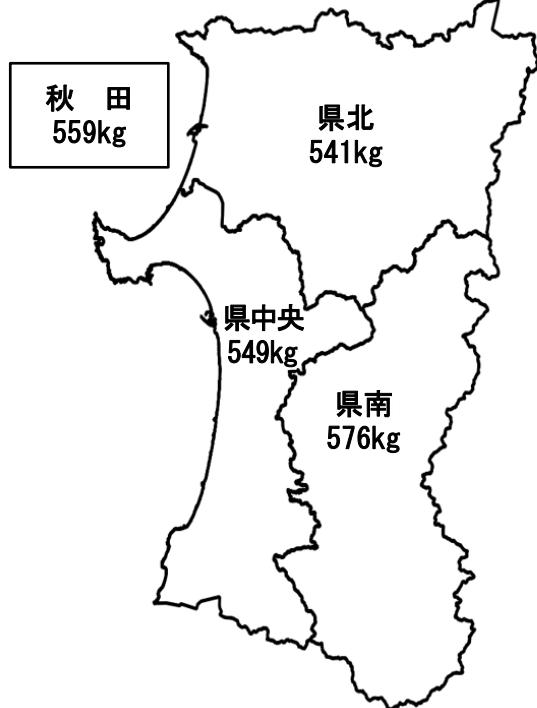
注：1 ①10a当たり収量は、過去5か年に生産者が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（秋田県は1.90mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 ②10a当たり収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く。）に対する10a当たり収量の比率である。

4 作柄表示地帯別の作付面積（主食用）、収穫量（主食用（生産者ふるい上米））及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））については、新規需要米（飼料用を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。

図1 作柄表示地帯別10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅ベース)



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅（秋田県は1.90mm）で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。
- 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く。）に対する10a当たり収量の比率である。

図2 令和7年産水稻作況標本筆の10a当たり収量の分布状況（秋田）
(生産者が使用しているふるい目幅ベース) (収穫期)

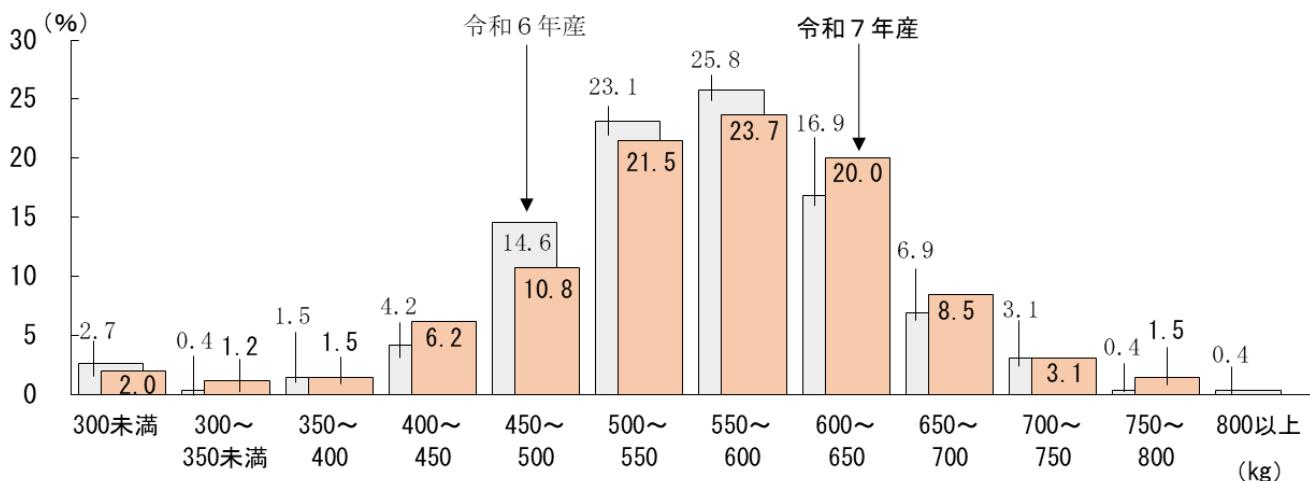
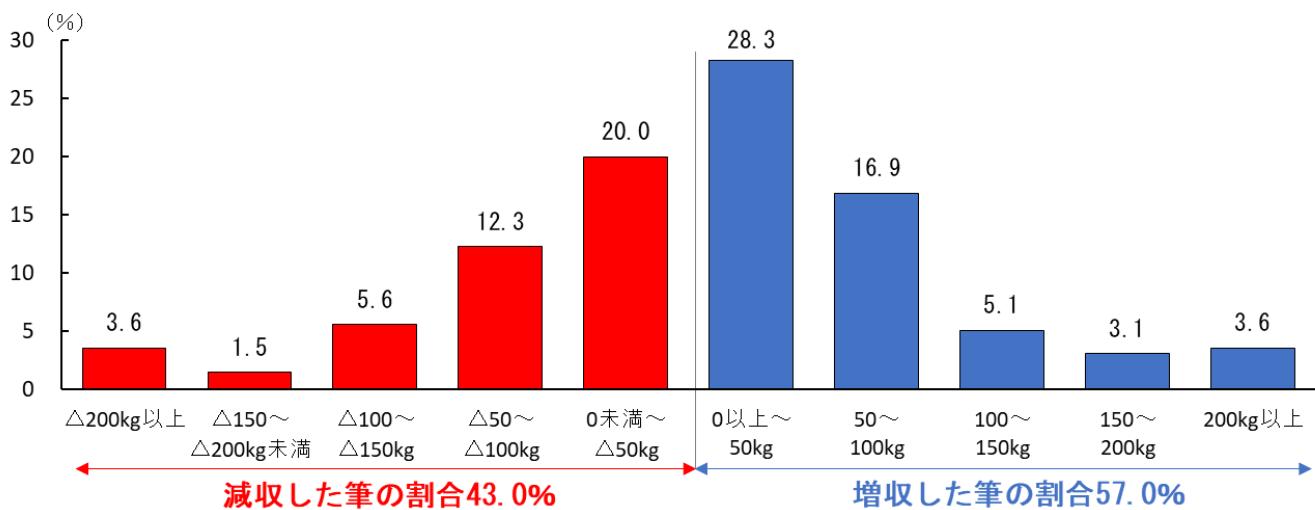


図3 令和7年産水稻作況標本筆の10a当たり収量の前年差の分布状況（秋田）
(生産者が使用しているふるい目幅ベース) (収穫期)



お問合せ先

東北農政局 秋田県拠点 統計担当
電話：018-895-7303（直通） 内線 453